**活動レポート**

2015年日本語または日本文化が好きで大連民族大学の日本語学科に入学した。そして、大学3年生の終り頃、成績が学年トップの20％に達したの上、広島大学の日本語教育学の先生との面接を受けたため、4年生から広島大学への留学することが出来た。それから、卒業論文を完成して2019年の6月に元の大学に戻り、卒業した。その同年の8月から、名古屋市で仕事し始めた。今は設計開発の仕事をする余暇に、bilibili（中国の動画共有サイト、機能がYouTubeと近い）でUP主をやっている。

大学三年生の時、日本語のコミュニケーション能力を上げるため、豊安という会社でインターンシップして一年間日本人に中国語を教えていた。最初に自分が準備して教えたいことを授業の相手に伝えたいと思ったばかりが、結局は授業がうまく進められなかった。あの時は文化と言語がコミュニケーションの越えがたい壁だと思っていた。しかし、授業する時に、相手の状況によるコミュニケーションしたり、相手の受け取る程度による知識内容を伝えたりすることで、授業内容が分かりやすくて面白くなってきたと言われてくれた。そのことから、情報の発信者は決して一方的な言いっぱなしではなく、受信者の変化　　　　　　　を観察することが重要だと考えた。

日本での留学生活が始まってから、日本の見聞や独自の外国での体験感想を記録するきっかけとして、bilibiliという中国の動画共有サイトで投稿し始めてUP主になった。今ではチャンネル登録者数が多くはないが、広告主から依頼を受けて商品を紹介した経験も少しある。動画共有サイトと言えば、やはりYouTubeその動画共有サイトで広告を配信する経験によって一つのことに気づいた。インターネットの発展に伴い、メディアは双方向のコミュニケーションをを取れるようになったが、